

## 神奈川県言語聴覚士会主催 第6回講習会のお知らせ

本年度の講習会を、下記の通り開催いたします。今回も小児領域と成人領域の講習会を同日に企画しました。小児・成人領域のどちらも専門的知識が深く、臨床経験の豊かな先生をお招きしております。ぜひ多くの方のご参加をお待ちいたしております。

---

**【開催日時】平成30年12月16日（日）**

**【小児の部】10：00～13：00（受付開始9：30）**

「小児の摂食・嚥下について」

講師：高見葉津先生（東京都立北療育センター）

**【成人の部】14：00～17：00（受付開始13：30）**

「ディサースリアについて」

講師：鈴木真生先生（多摩リハビリテーション学院）

**【会場】** かながわ労働プラザ 3階 多目的ホール

（JR根岸線 石川町北口・徒歩3分）

**【参加費】** 各部につき 正会員 500円 準会員 1500円

非会員 3000円 学生 1000円

\* 小児、成人両方に参加の場合上記の倍額となります。

\* 当日会場にて入会のお申込みを受け付けます。非会員の方で、当日入会された場合は会員の参加費で受講できます。

**【申込方法】**

神奈川県言語聴覚士会 HP <http://www.kanagawa-slht.org>

「県士会主催研修会等」より受け付けます。

**【申込期間】**

平成30年10月1日～12月3日 申し込み締め切り 12月3日

先着順で定員（各部100名）になり次第、申込期間中でも受付を締め切らせていただきます。予めご了承ください。

問い合わせ先 [koshukaiinfo@kanagawa-slht.org](mailto:koshukaiinfo@kanagawa-slht.org) 学術局

ご参加をお待ちいたしております。

## 【小児の部】

### 講師：高見葉津先生からのコメント

「食べることに困難がある子どもたちへの支援を考える」

子どもは生得的な能力に加え外界からの刺激により感覚運動経験を重ね学習しながら発達する。心身の発達とともに摂食嚥下機能も発達する。しかしながら心身の障害とともに嚥下障害を呈したり摂食機能発達が停滞する子どももいる。また、摂食嚥下機能には問題がないが食べるが進まない場合もある。

基礎疾患による特性、障害の程度、ライフステージといった視点から ST が行う食べることへの支援について皆さんと考えていきたい。

## 【成人の部】

### 講師：鈴木真生先生からのコメント

ディサースリアの評価を見直す。

ディサースリアの評価は、発声発語器官と発話特徴の因果関係を検査結果をもとに整理し、どの機能が障害されているか裏づけをすることが求められる。今一度、ディサースリアの評価を見直すとともに、ディサースリアに合併しやすい摂食嚥下障害との関連について、両者が末梢器官を共有している点をふまえ、発話運動と嚥下運動を同時に評価することの重要性を解説する。

本講習会を通して、ディサースリアの評価の在り方を皆さんと一緒に考えていきたい。